

令和4年度 第3回 光が丘中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月6日（月） 午後1時30分から3時20分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 甘蔗 孝仁、青山 敏郎、溝口 玄、笹竹 和行、松井 章泰
小澤 房世、坂井 久司、黒川 高明
- 4 欠席委員 鈴木 はるみ
- 5 学 校 鈴木 靖（校長）、古橋 康浩（教頭）、横山 貴美恵（CSディレクター）
- 6 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - （1）議長の選出について
 - （2）学校評価アンケートの結果と今後の対応について
 - （3）学校運営協議会の運営と評価について
 - （4）来年度に向けた取り組みについて
 - ①「いじめ防止等のための基本的な方針」来年度の方針について
 - ②「生活のルールやマナー」の見直しの方法について
 - （5）その他
 - ①CS加算分報告
- 9 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵
- 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について第1回協議会において輪番で行うことが決まっていたことを伝え、順番で笹竹委員にお願いするとの提案をした。協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

本日は、笹竹委員が議長を務めることとなった。

（2）学校評価アンケートの結果と今後の対応について

議長の指示により、教頭よりアンケート結果について資料（3～6頁）を用いて説明があり、授業参観と学校評価アンケートの結果を踏まえた生徒の様子について、感想を含めて、意見交換を行った。

●アンケートについては、先生からのアンケートはとっているか。（松井委員）

⇒教師用アンケートをとっており、特に理解が必要な生徒については、平日頃より生徒、親、教師で連絡を取り合い、それぞれの想いを共有できている。（教頭）

●先生の想いと、生徒や親の想いにずれはないか。それらを踏まえた授業は考えられているか。(松井委員)

⇒一部理解が必要な生徒もいるが、ほぼ全ての生徒は優しく穏やかに過ごしており、授業について問題は無いと思う。教師は日頃より授業内容の向上に取り組み、研修等でもICT機器の活用も含め、有効に使えるように、職員共々向上できるよう取り組んでいる。家庭学習が必要な場面においても、タブレット等で生徒との繋がりを持ち学習を進めている。(教頭)

●健全な学校である印象を持った。全体評価がいいことは良いが、一部の生徒のずれも見逃さないようにしてほしい。(坂井委員)

●授業参観で一部を見ただけなので難しいかもしれないが、「課題や主体性がある」という点について協議したい。(青山委員)

⇒主体性を育むという点では、ポイントを押さえて主体性を育む問いを発問できるようになっている。先生方もそれについて工夫している先生が多い。(教頭)

協議内容について、今後も学校で取り組むことで承認した。

(3) 学校運営協議会の運営と評価について

議長の指示により、教頭より、学校運営協議会について委員数名の意見を参考にまとめた資料(7頁)を用いて説明があり、その内容を本協議会の自己評価とするため、追記や感想を含めて意見交換を行った。

●調理実習について補助参加したが、自分達がいることで子供たちが安心して取り組んでいるように感じた。今後も、こういう機会があれば良いと思う。子供たちは優しいし協調性あると感じた。やらない子に対しても強制をしていない。(小澤委員)

●学区が広いため、地域の伝統等について記載があるのが良い。(溝口委員)

●統合によりなくなった学校の生徒・卒業生の想いが分かった。これも今後の運営で考慮した方が良い。(甘蔗会長)

●龍山等、伝統がなくなってしまうところもあり、地域の伝統を残していきたい。(松井委員)

●竜川太鼓は残っており、ありがたい。先生もそれを気にかけてくれている。(溝口委員)

●龍山中学の生徒は学校規模が小さいため、運動会などの行事に幼稚園から中学生までみんなで参加していた。そこへ光が丘中学の生徒も参加してもらった時もあり、そういった結びつきが大切で、今後も機会があれば参加してほしい。(坂井委員)

⇒地域の想いを学びながら進めていきたい。(教頭)

●光明幼稚園、横山小学校、光明小学校等も含めて地域全体で子供を育てることを意識し、協議している。

●竜川太鼓は特別な部活動として、希望する子を集めて練習し、入学式や文化発表会等で発表する機会を設けた。職員も変わる中、地域の想いを繋げていけるよう進めていきたい。(教頭)

- 年末に、子供達が「勝ち栗」について触れる機会があり、地域に触れる機会となった。竜川太鼓等の活動のように、地域と繋がる形になると良い。(校長)
- 勝ち栗伝説のオペレッタのようなものを、全教科通して総合学習のような形で実現できると良い。(青山委員)

協議の結果、資料(7頁)について一部内容と文言を修正することで承認した。

(4) 来年度に向けた取り組みについて

①「いじめ防止等のための基本的な方針」来年度の方針について

議長の指示により、教頭より、資料(9~14頁)を用い、特に赤字部分について、PTAにも意見を頂きながら学校で検討と見直しを行い、結果は夏ごろ公開予定の旨の説明があり、委員から以下の意見があった。

- 大人の社会でもいじめはあるので、無くすのは現実問題難しい。いじめという言葉で済ませず、刑事罰に相当すること(傷害、窃盗等)を子供たちに伝えていく必要がある。地域の人と交流する等し、大人の目に触れることが必要かと思う。(黒川委員)
- いじめ対策基本法に、「訴えた子に寄り添って話を聞くこと」とあるが、もう一方の話を聞くと先に嫌な思いをしていたこともあり、昔はお互い様で済ませていたが、今は法律に照らして別件として対応する必要が出てきている。(校長)
- 昔は、地域が学校のことに口を挟まないことが普通だったが、コミュニティー・スクールができたことで地域も参加することになった。民生委員が家庭を回って話を聞くことで地域に参加できると思う。(坂井委員)

②「生活のルールやマナー」の見直しの方法について

議長の指示により、教頭より資料(15、16頁)を用いて、保護者にとった改善有無のアンケート結果から、全体の2/3が改善不要との印象を持った旨の説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(5) その他

①CS加算分報告

議長の指示により、教頭より資料(17、18頁)を用いて説明があり、下記の質問があった。

- これは毎年つくか。(松井委員)
⇒毎年つく。(教育総務課 堀田)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

【その他報告事項等】

- 教育相談員の話で、虐待や不登校の状態等情報があれば教えてほしい。(松井委員)

- 司会より、協議会委員の任期等について説明があり、次の方に引き継ぐ際、情報共有をお願いする旨の説明があった。
- 司会より、小澤委員、鈴木委員は今年度までとなり、来年度は新しい方となる旨の説明があった。
- 司会より、黒川委員はPTA会長を退くが、委員として残る旨の説明があった。
- 司会より、CSだよりに記載する内容について、後日、各委員の思いや考え、意見を頂く旨の説明があった。
- 司会から、次回会議は、令和5年5月15日（月）午後1時30分から開催し、議長は松井委員をお願いする旨の説明があった。